

腫瘍内科（担当部門：必修内科・選択科目）

診療科 HP (<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/~oncology/>)

診療科の紹介

“腫瘍内科”とは、ひとことでは“がんを総合的に治療する内科”のことです。これまで臓器別診療のもとでがん治療は行われてきましたが、がんの分子生物学的・遺伝的病態の解明と、分子標的薬やがん免疫療法薬のような新規治療薬の飛躍的な神秘により、特定の臓器毎の診療で、は治療薬剤の取り扱いや副作用マネージメントなどの包括的な対応に限界を期すことがあります。

研修目標（2ヶ月の研修）

- がんの診断学的目標：身体診察の修得と実践。基本的検査(血液検査・血液生化学検査・血清学的検査・免疫学的検査、血液ガス分析、尿検査、髄液検査、心電図、単純X線検査)の検査結果判読に基づく臨床診断/判断ができる。さらに可能であれば、必要な病理診断、細胞・分子遺伝学的診断、各種分子生物学的マーカーなどの臨床腫瘍学的に重要な検査指標をもとに病期診断・病態診断が理解できる。
- がんの治療学的目標：がん薬物療法の目的、標準治療の意味と適応、有効性、効果判定方法、副作用の評価と対策、集学的治療の目的と適応について理解して説明できる。また、支持療法や緩和ケアについて、評価、診断、治療・処方などの対応が理解して説明できる。

研修内容、経験できる症例や手技

消化器がん、頭頸部がん、肉腫、希少がん、原発不明がん、多重がんの薬物療法・集学的治療・支持/緩和療法やオンコロジーエマージェンシーの診断・治療を中心に、主に入院症例について医科の臨床経験が可能

- 検査手技：
- 基本的手技
- 検査結果の適正な評価に基づく支持・緩和医療：
- コミュニケーションスキル：
- がんゲノム医療：

研修時のスケジュール

曜日	午 前	午 後
月	キャンサーボード~教授回診 病棟回診・診察/検査/処理/処方	外来見学・診察/検査/処理/処方
火	病棟回診・診察/検査/処理/処方 外来・処置など	病棟回診・診察/検査/処理/処方 外来・処置など
水	病棟回診・診察/検査/処理/処方 外来・処置など	緩和ケアカンファレンス~チーム回診 病棟回診・診察/検査/処理/処方
木	病棟回診・診察/検査/処理/処方 ミニレクチャー (がん薬物療法・緩和・支持療法・EBMなど)	病棟回診・診察/検査/処理/処方 ミニレクチャー (がん薬物療法・緩和・支持療法・EBMなど)
金	(がんゲノム) エキスパートパネル 病棟カンファ・抄録会 病棟回診・診察/検査/処理/処方	医薬品説明会（ある時だけ） 病棟回診・診察/検査/処理/処方

参考図書(基本的には、医局にて準備/貸与可です。):

- 「入門 腫瘍内科学 改定第3版」
- 「がん診療 レジデントマニュアル 第8版」
- 「緩和ケア レジデントマニュアル」
- 「はじめてのがん化学療法看護」

各種ガイドライン